

令和二年度千葉県臨床検査技師会血液検査サーベイ中間報告

令和二年度千臨技サーベイの血算部門・血液像部門の中間報告を作製いたしました。中間報告の為、後日報告されます報告書とは結果が異なる場合もありますことをご了承ください。

この報告を各施設で有効活用して頂けると幸いです。

2020年12月12日

血液検査研究班 仙波利寿

【精度管理担当者】

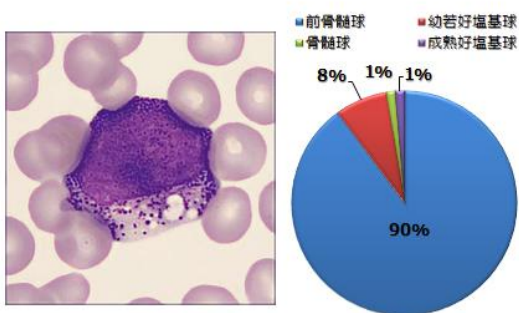
千葉県救急医療センター	長津 知嗣
船橋市立医療センター	福田 幸広
亀田総合病院	本井 貴子
旭中央病院	佐藤 文美
順天堂大学医学部附属浦安病院	森本 愛
成田赤十字病院	笹尾 祐太
君津中央病院	淵上 司
松戸市立総合医療センター	永尾 篤子
千葉県がんセンター	久保木 正人
千葉大学医学部附属病院	仙波 利寿

【サーベイ検査結果速報】

画像 1～18 は正常末梢血のライト・ギムザ染色です。

画像 19、20、21 は患者末梢血のライト・ギムザ染色です。

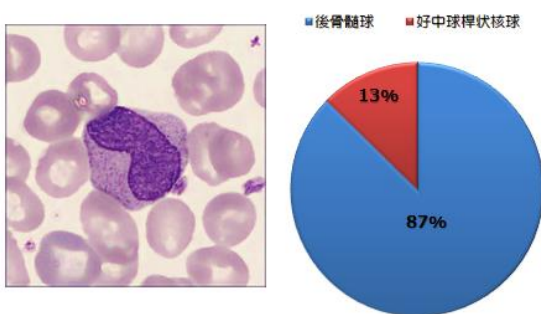
画像1



設問 1 (画像 1)

前骨髄球 90%、幼若好塩基球 8%、骨髄球 1%、成熟好塩基球 1%という結果となりました。

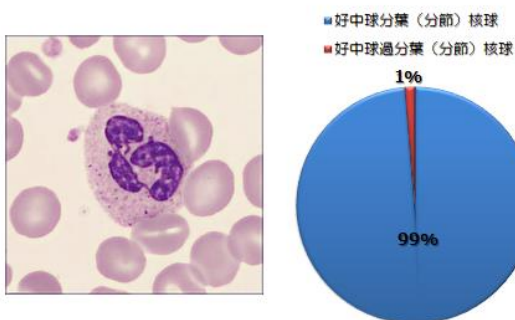
画像2



設問 2 (画像 2)

後骨髄球 87%、好中球桿状核球 13%という結果となりました。

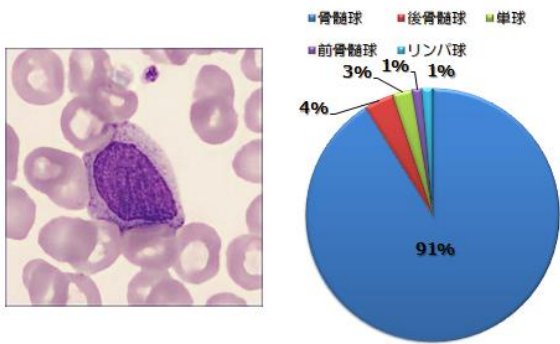
画像3



設問 3 (画像 3)

好中球分葉核球 99%、好中球過分葉核球 1%という結果となりました。

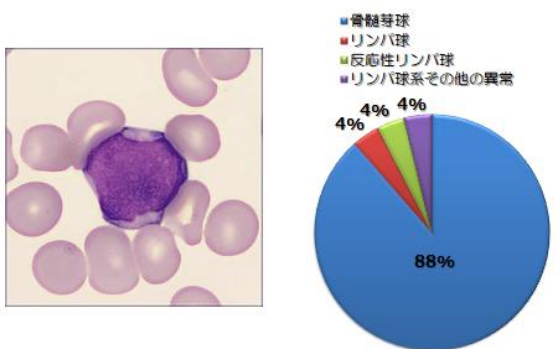
画像4



設問 4 (画像 4)

骨髄球 91%、後骨髄球 4%、単球 3%、前骨髄球 1%、リンパ球 1%という結果となりました。

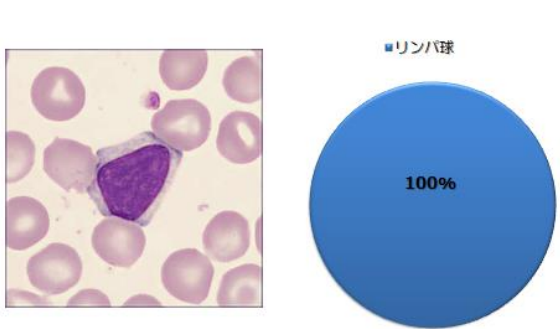
画像5



設問 5 (画像 5)

骨髄芽球 88%、リンパ球 4%、反応性リンパ球 4%、リンパ球系その他の異常 4%という結果となりました。

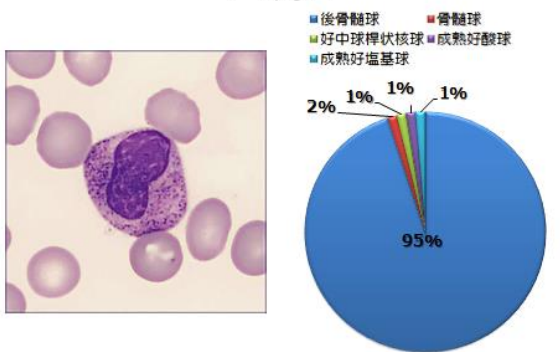
画像6



設問 6 (画像 6)

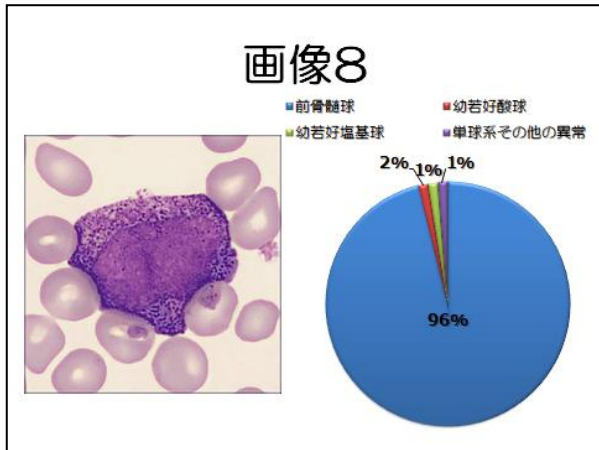
リンパ球 100%という結果となりました。

画像7



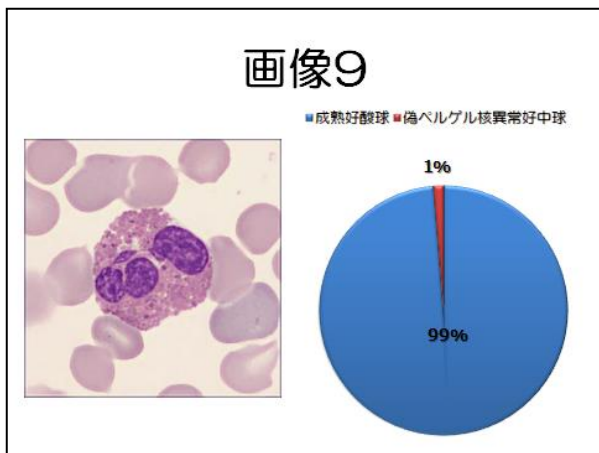
設問 7 (画像 7)

後骨髄球 95%、骨髄球 2%、好中球桿状核球 1%、成熟好酸球 1%、成熟好塩基球 1%という結果となりました。



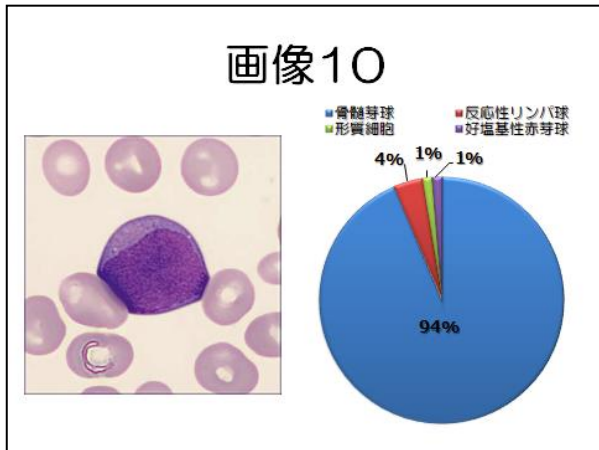
設問 8 (画像 8)

前骨髄球 96%、幼若好酸球 2%、幼若好塩基球 1%、単球系その他の異常 1%という結果となりました。



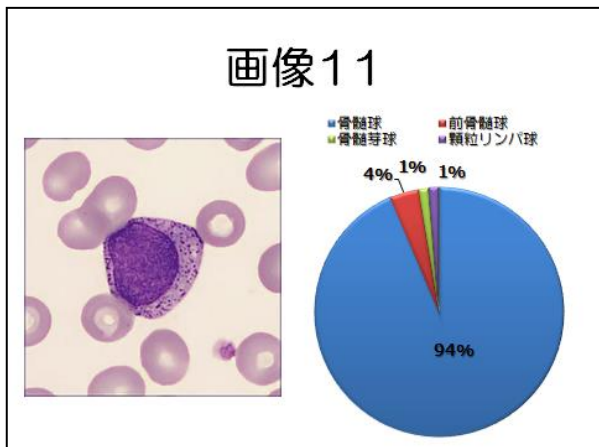
設問 9 (画像 9)

成熟好酸球 99%、偽ペルゲル核異常好中球 1%という結果となりました。



設問 10 (画像 10)

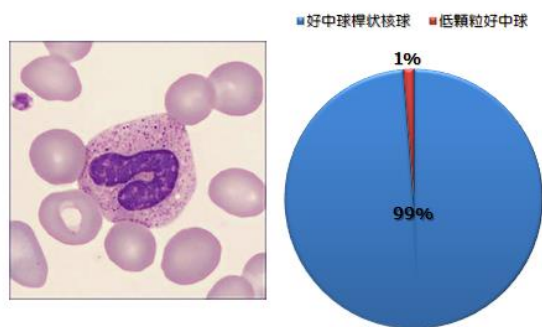
骨髄芽球 94%、反応性リンパ球 4%、形質細胞 1%、好塩基性赤芽球 1%という結果となりました。



設問 11 (画像 11)

骨髄球 94%、前骨髄球 4%、骨髄芽球 1%、顆粒リンパ球 1%という結果となりました。

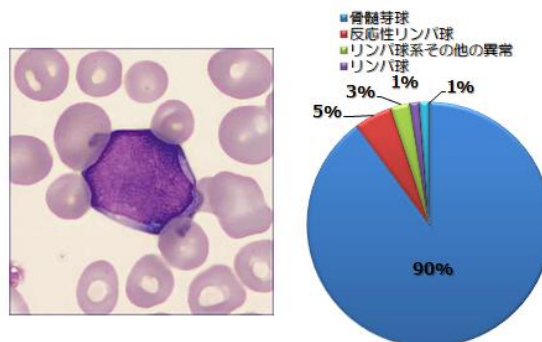
画像12



設問 12 (画像 12)

好中球桿状核球 99%、低顆粒好中球 1%という結果となりました。

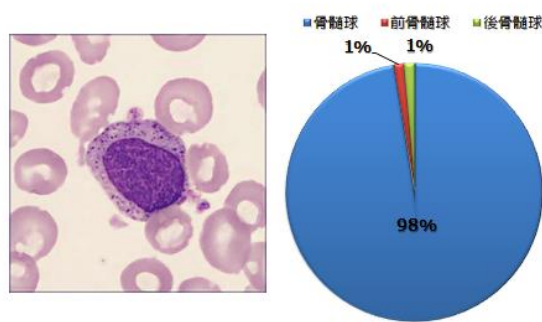
画像13



設問 13 (画像 13)

骨髓芽球 90%、反応性リンパ球 5%、リンパ球系その他の異常 3%、リンパ球 1%、後骨髓球 1%という結果となりました。

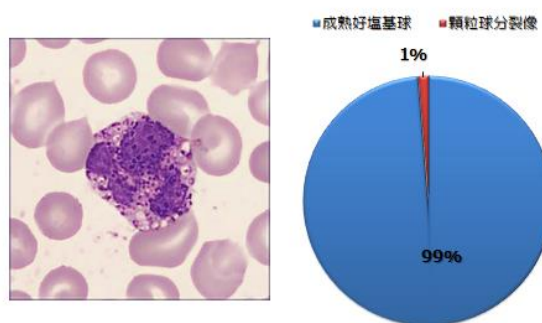
画像14



設問 14 (画像 14)

骨髓球 98%、前骨髓球 1%、後骨髓球 1%という結果となりました。

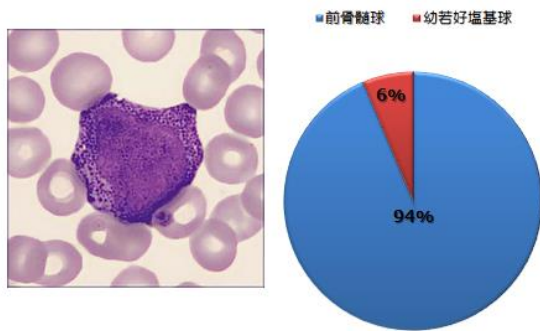
画像15



設問 15 (画像 15)

成熟好塩基球 99%、顆粒球分裂像 1%という結果となりました。

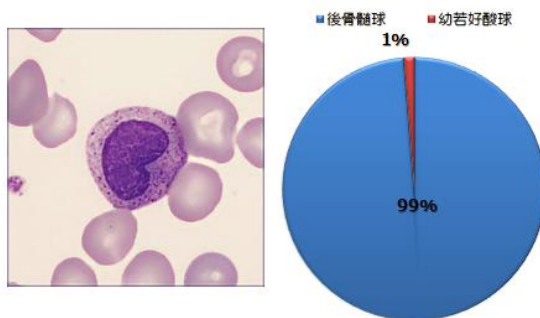
画像16



設問 16 (画像 16)

前骨髄球 94%、幼若好塩基球 6%という結果となりました。

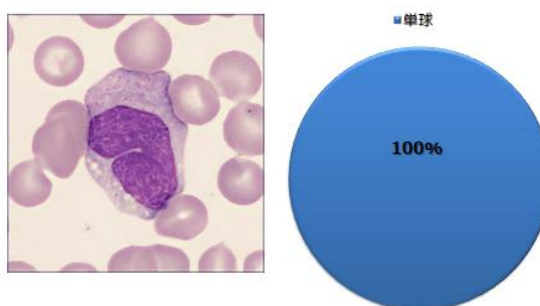
画像17



設問 17 (画像 17)

後骨髄球 99%、幼若好酸球 1%という結果となりました。

画像18



設問 18 (画像 18)

単球 100%という結果となりました。

【画像 19～20 参考データ】

60 歳代 男性

健康診断で白血球増加を指摘され、精査のために紹介受診となった。

血算データ

WBC $20.3 \times 10^9/L$ (3.6~8.8)、RBC $5.28 \times 10^{12}/L$ (3.77~5.55)、

Hb 16.0g/dL (12.5~17.3)、Ht 50.7% (37.1~50.7)、PLT $451 \times 10^9/L$ (150~350)

血液像データ (目視データ)

骨髄球 10.0%、桿状核好中球 0.5%、分葉核好中球 52.5%、リンパ球 20.0%、
単球 8.5%、好酸球 3.5%、好塩基球 5.0%

生化学データ

AST 28U/L (13~33)、ALT 13U/L (8~42)、LD 460U/L (119~229)、

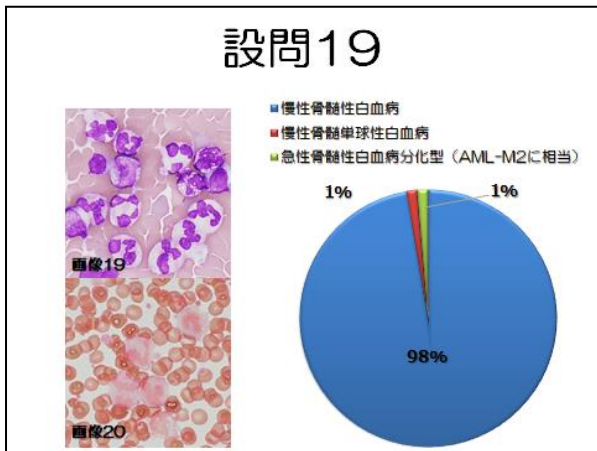
UA 8.0mg/dL (2.0~7.0)、ALP 182U/L (115~359)、TP 6.7g/dL (6.5~8.5)、

ALB 4.2g/dL (3.9~4.9)、T-Bil 0.8mg/dL (0.2~1.3)、CRP 0.1mg/dL 以下 (<0.3)

骨髄データ

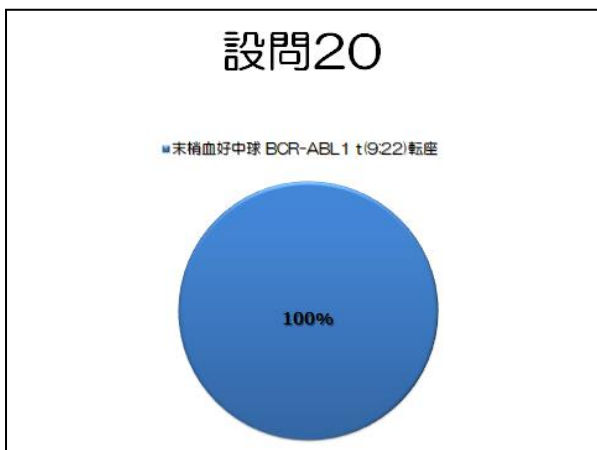
NCC $74.4 \times 10^4/\mu L$ 、MgK 27./ μL 、著しい過形成骨髄 (圧挫進展標本で判定)、

M/E 比 19.78、芽球 2.4%、異形成細胞 なし



設問 19 (画像 19)

慢性骨髄性白血病 98%、慢性骨髄単球性白血病 1%、AML-M2 1%という結果となりました。



設問 20 (画像 20)

末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座 100%という結果となりました。

【画像 21～22 参考データ】

30 歳代 女性。

月経過多にて近医婦人科受診。血液検査にて異常を認めたため、紹介受診となった。

血算データ

WBC $0.7 \times 10^9/L$ (3.6~8.8)、RBC $3.26 \times 10^{12}/L$ (3.77~5.55)、

Hb 9.9g/dL (12.5~17.3)、Ht 28.5% (37.1~50.7)、PLT $17 \times 10^9/L$ (150~350)

血液像データ (目視データ)

芽球 1.0%、前骨髄球 12.0%、骨髄球 1.0%、桿状核好中球 0.5%、

分葉核好中球 17.5%、リンパ球 65.5%、単球 2.5%、有核赤血球 2 個/200 カウント

凝固データ

PT-INR 1.15、APTT 27.1 秒 (25.0~37.0)、Fbg 90mg/dL (150~400)、

DD 19.68 μ g/mL (0~1.00)、FDP 66.5 μ g/mL (0~5.0)

生化学データ

AST 17U/L (13~33)、ALT 10U/L (8~42)、LD 244U/L (119~229)、

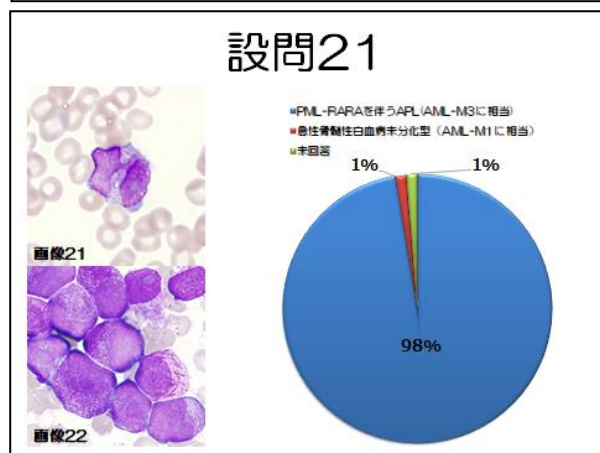
UA 4.4mg/dL (2.0~7.0)、ALP 155U/L (115~359)、TP 6.8g/dL (6.5~8.5)、

ALB 4.6g/dL (3.9~4.9)、T-BiL 0.3mg/dL (0.2~1.3)、CRP 0.2mg/dL (0.3 以下)

骨髄データ

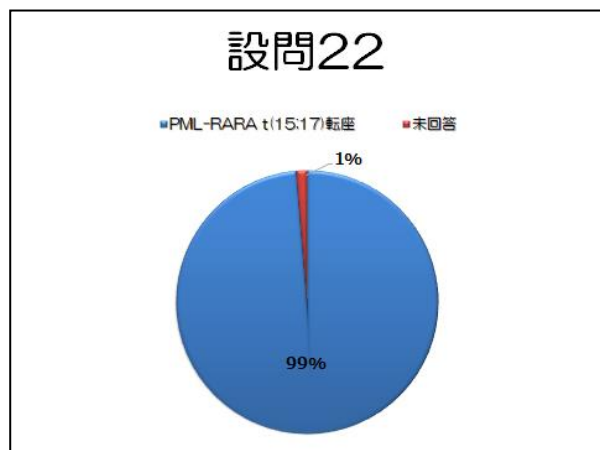
NCC 57.1 $\times 10^4/\mu$ L、MgK 15 以下、著しい過形成骨髄 (圧挫進展標本で判定)、

M/E 比 493.0、前骨髄球 98.0%、異形成細胞 なし



設問 21 (画像 21、22)

PML-RARA を伴う APL 98%、AML-M1 1%、未回答 1%という結果となりました。



設問 22

PML-RARA t(15;17)転座 99%、未回答 1%という結果となりました。

画像 23～24 参考データ】

30 歳代 女性。

頭痛、呼吸困難出現し、救急要請にて搬送。追加検査により、感染症と DIC は否定された。下痢症状はなし。

血算データ

WBC $15.8 \times 10^9/L$ (3.6～8.8)、RBC $2.59 \times 10^{12}/L$ (3.77～5.55)、
Hb 8.1g/dL (12.5～17.3)、Ht 26.3% (37.1～50.7)、PLT $73 \times 10^9/L$ (150～350)、
網赤血球 14.2% (0.2～2.8)

凝固データ

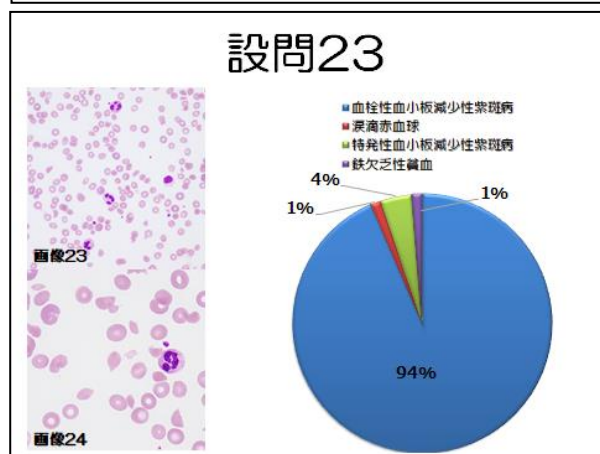
PT-INR 1.32、APTT 40.7 秒 (25.0～37.0)、Fbg 292mg/dL (150～400)、
FDP 19.7 μ g/mL (0～5.0)

生化学データ

AST 1279U/L (13～33)、ALT 1367U/L (8～42)、LD 3645U/L (119～229)、
TP 5.5g/dL (6.5～8.5)、ALB 2.4g/dL (3.9～4.9)、BUN 49mg/dL (8～22)、
CREA 3.27mg/dL (0.61～1.04)、T-BiL 2.1mg/dL (0.2～1.3)、
D-Bil 0.5mg/dL (0.4 未満)、CRP 0.2mg/dL (0.3 以下)

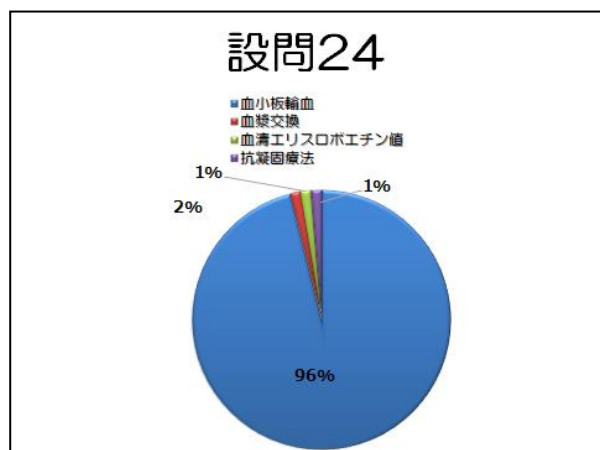
その他データ

直接クームス (－)、ADAMTS13 活性 6%



設問 23 (画像 23、24)

血栓性血小板減少性紫斑病 94%、特発性血小板減少性紫斑病 4%、溶血性貧血 1%、鉄欠乏性貧血 1%という結果となりました。



設問 24

血小板輸血 96%、血漿交換 2%、血清エリスロポエチン値 1%、抗凝固療法 1%という結果となりました。

画像 25～26 参考データ】

70 歳代 男性。

息切れを訴え近医受診。血液検査にて異常を認めたため、紹介受診となった。

血算データ

WBC $2.0 \times 10^9/L$ (3.6~8.8)、RBC $1.77 \times 10^{12}/L$ (3.77~5.55)、

Hb 6.2g/dL (12.5~17.3)、Ht 20.0% (37.1~50.7)、PLT $52 \times 10^9/L$ (150~350)

血液像データ (目視データ)

芽球 7.5%、桿状核好中球 0.5%、分葉核好中球 75.5%、リンパ球 14.0%、
単球 2.0%、好酸球 0.5%、有核赤血球 1 個/200 カウント

生化学データ

AST 21U/L (13~33)、ALT 11U/L (8~42)、LD 307U/L (119~229)、

UA 4.2mg/dL (2.0~7.0)、ALP 199U/L (115~359)、TP 7.0g/dL (6.5~8.5)、

ALB 3.6g/dL (3.9~4.9)、T-BiL 0.8mg/dL (0.2~1.3)、CRP 0.4mg/dL (0.3 以下)

骨髄データ

NCC $56.6 \times 10^4/\mu L$ 、MgK 210/ μL 、過形成骨髄 (圧挫進展標本で判定)、

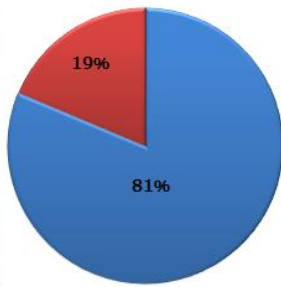
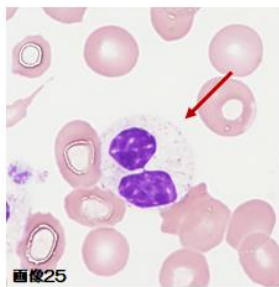
M/E 比 1.94、芽球 15.4%

異形成細胞 造血 3 系統のそれぞれに有意 (10%以上) な異形成細胞あり

特記すべき染色体、遺伝子異常 なし

設問25

■偽ペルゲル核異常好中球 ■無回答

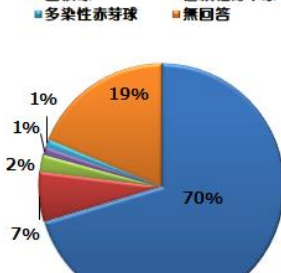
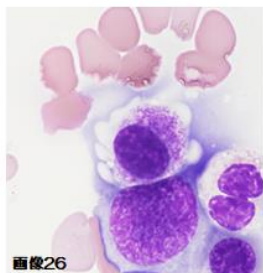


設問 25 (画像 25) ※評価対象外

偽ペルゲル核異常好中球 81%、無回答 19%という結果となりました。

設問26

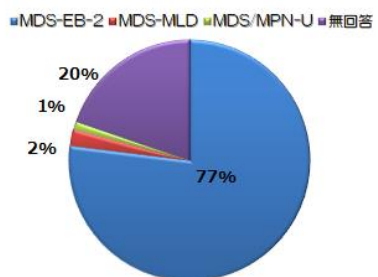
■微小巨核球 ■小型巨核球
■巨核球 ■低顆粒好中球
■多染性赤芽球 ■無回答



設問 26 (画像 26) ※評価対象外

微小巨核球 70%、小型巨核球 7%、巨核球 2%、低顆粒好中球 1%、多染性赤芽球 1%、無回答 19%という結果となりました。

設問27



設問 27※評価対象外

MDS-EB-2 77%、MDS-MLD 2%、MDS-MPN-U 1%、
無回答 20%という結果となりました。

画像 27～30 参考データ】

70 歳代 男性。

血液検査で異常を認めたため紹介受診となった。

血算データ

WBC $6.8 \times 10^9/L$ (3.6～8.8)、RBC $2.04 \times 10^{12}/L$ (3.77～5.55)、

Hb 7.4g/dL (12.5～17.3)、Ht 22.9% (37.1～50.7)、PLT $6.7 \times 10^9/L$ (150～350)

血液像データ (目視データ)

芽球 31.0%、前骨髄球 4.0%、骨髄球 17.0%、桿状核好中球 6.0%、

分葉核好中球 28.5%、リンパ球 13.0%、単球 0.5%

生化学データ

AST 20U/L (13～33)、ALT 20U/L (8～42)、LD 495U/L (119～229)、

UA 7.6mg/dL (2.0～7.0)、ALP 362U/L (115～359)、TP 6.8g/dL (6.5～8.5)、

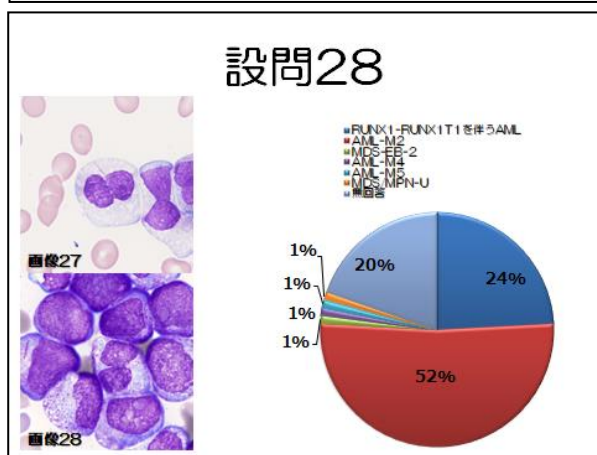
ALB 3.0g/dL (3.9～4.9)、T-BiL 0.7mg/dL (0.2～1.3)、CRP 5.7mg/dL (0.3 以下)

骨髄データ

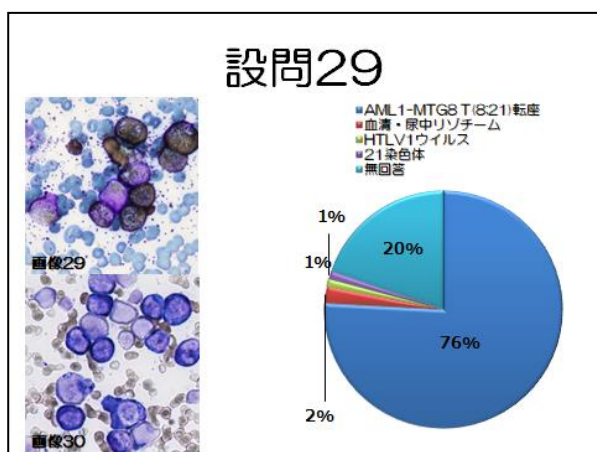
NCC $15.8 \times 10^4/\mu L$ 、MgK 15 μL 、過形成骨髄 (圧挫進展標本で判定)、

M/E 比 27.63、芽球 48.8%

異形成細胞 顆粒球系細胞のみ有意 (10%以上) な異形成細胞あり



設問 28 (画像 27～30) ※評価対象外
AML-M2 52%、RUNX1-RUNX1T1 を伴う AML 24%、MDS-EB-2、MPN-U 各 1%、AML-M4、M5 各 1%、無回答 20%という結果となりました。



設問 29※評価対象外
AML1-MTG8 t(8;21)転座 76%、血清・尿中リゾチーム 2%、HTLV1 ウイルス 1%、21染色体 1%、無回答 20%という結果となりました。